

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「夢 (gift) を明日へ
つなげよう」

高田ロータリー今年の
スローガン

「ロータリーは親睦と
奉仕の融合」



世界へのプレゼントになろう

2015～2016年度

国際ロータリー会長 K.R.ラビンドラン
2560地区ガバナー 山本 和則
高田ロータリー会長 水上 喜芳
幹事 大島 誠

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員
田中 正人 小熊 貞良 栗田 修行
笠谷 吉春 小林 豊茂 霜村 浩

第9回例会 ■ 9月4日(金)

No.9

会長挨拶 ● 水上 喜芳



皆さんこんにちは。

先程、11:00 からロービーにて第6回 60周年記念式典実行委員会を行いました。当日まで1ヶ月を切り、いよいよ詳細打合せと各委員会の連携が必要になって来ます。式典出席者も当初予想の220名を大きく上回り260名を超えそうです。

さて今月のロータリー特別月間は『基本的教育と識字率向上月間』になります。国際ロータリーが掲げている6つの重点分野の一つになります。いま全世界で7,000万人の子どもたちが教育を受けられず、また7億8千万人の人びと(15歳以上)が読み書きを出来ないのが現状となっています。国際ロータリーとロータリー財団はロータリアン一人ひとりと共に、こうした状況を改善すべき重要なテーマとして取り組んできました。1853年、明治維新の15年前、黒船を率いてアメリカからやって来たペリー提督は、その自らの日記の中で日本人の識字率の高さに大変驚いています。なぜならば、江戸時代幕末期において武士は、ほぼ100%一般庶民でも半数の人たちが、読み書きが出来たからです。ちなみに同時代の先進国であり世界一の工業国と言われたイギリスでは下層庶民層の場合ロンドンでも字が読める人は10%に

満たなかったからです。正しく、その時代の日本人の識字率の高さが明治維新以降、日本の工業化が世界の先端レベルに追い付くことが出来た一因となったことは言うに及びません。

今日の卓話は糸魚川 RC の山岸様からお話を頂きます。

出席報告

出席率 100%

メイクアップ

佐藤 信君 (8/29(土)ロータリー財団セミナー)
斉藤光雄君 (8/29(土)米山奨学委員長セミナー)

セレモニー

感謝状贈呈「年次基金1人当たり寄付額4位」
(2014-15年度ロータリー財団委員会より)

会員スピーチ

チャールズ・C・ストラットン君——国際フリースクール I CAN 主催映画会「HAFU」上映のお知らせ (9/12(土)高田世界館にて)

委員会報告

出席・ニコニコBOX委員会

SAA 一同——本年度はじめて食事と出席者数

が一致いたしました。
 ロータリー情報委員会——8/29(土)ロータリー
 財団セミナー出席の報告(佐藤委員長)
 米山奨学委員会——米山奨学委員長セミナー出
 席の報告(齊藤委員長)

幹事報告

配布物：週報No.8、ガバナー月信9月号、ロータ

リーの友9月号、「上越 職場の発達障害
 を考える会」のご案内

回覧物：新会員推薦申込カード2名
 報告：11/1地区大会最終コール・第2800地
 区地区大会登録再度希望者の呼びかけ
 例会当日急遽欠席の場合：出来るだけ
 10時までに事務局へ連絡おねがいしま
 す。

卓話 もったいない！下水道汚泥の利活用



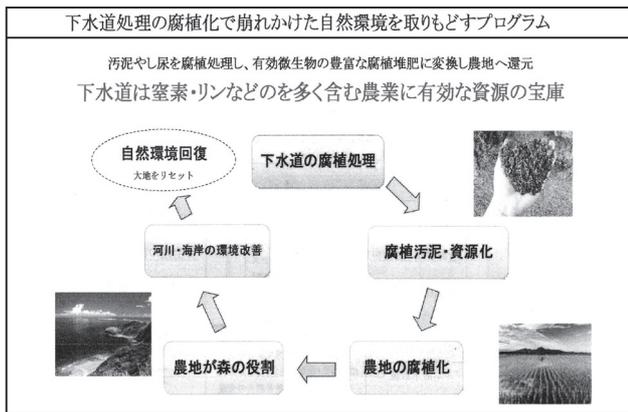
株式会社三共セラミックス 代表取締役 **山岸 美隆 様**
 (糸魚川ロータリークラブ)

私達が日常、無意識に利用してい
 る下水道。日常生活から出る排水は、
 窒素やリンなど農業に有効な資源、宝の宝庫です。

最終汚泥は全量を焼却処分し最終処分場やセメ
 ントの材料として、経費を掛けて処分しているの
 が現状です。

汚泥に含まれるリンは全量を輸入に頼っていま
 す。余分なCO²を出さず、輸入に頼らず、資源を
 無駄なく使うリノベーションを推進しましょう。

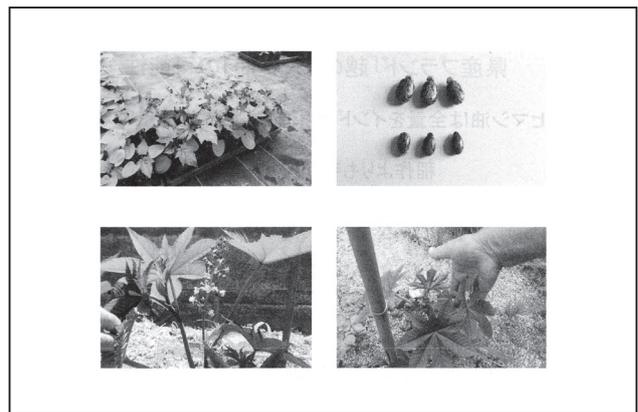
1. 下水道汚泥を活用した、自然環境改善プロ グラム



2. 汚泥削減による処理コストの削減
3. 食物以外の耕作「環境農業」の推進で新た
 な産業づくりと里山の保全

食物以外の「環境農業」の推進が農業を活性化
 し、耕作放棄地や里山の農地の維持確保、新たな
 雇用の創出を提案致します。

以上を中心に今年度、新潟産業創造機構の助成
 事業と合わせてお話し致しました。



県産ブランド「越のヒマシ油」の可能性
 ヒマシ油は全量をインドから輸入。世界生産量98%

稲作よりも手が掛からない
 連作障害なし
 耕作放棄地の農地保全

反収10アール当たり12万円確保
 中山間地の過疎対策

県産高性能エンジンオイルの開発
 6次産業化による「ものづくりクラスター」推進